

2024 年度事業報告

学校法人
大阪星光学院

学校法人大阪星光学院 2024 年度事業報告書
(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

I. 法人概要

学校法人大阪星光学院は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

1. 設立年月日

昭和 25 年 12 月 22 日

2. 設置する学校及び生徒数

学校	学年	定員数	生徒数*	転退
大阪星光学院中学校	1 年	200	192	1
	2 年	200	192	
	3 年	200	190	
大阪星光学院高等学校	1 年	200	186	2
	2 年	200	195	1
	3 年	200	170	0
合計		1200	1125	4

*生徒数は 2025 年 3 月 1 日現在

3. 設置する学校の所在地

学校法人大阪星光学院

〒543-0061 大阪府大阪市天王寺区伶人町1番6号

4. 教職員の概要 (2024 年 5 月 1 日現在)

	教員					職員				
	本務		兼務		計	本務		兼務		計
中学校	教員	30	非常勤講師	3	33	事務職員	3	南部管理	1	4
	養護	1	特別非常勤講師	2	3	受付	1	カウンセラー	1	2
						営繕	1			1
高等学校	教員	30	非常勤講師	4	34	事務職員	2	カウンセラー	1	3
	養護	1	特別非常勤講師	0	1	受付	1	山荘管理	1	2
						営繕	1			1
合計		62		9	71		9		4	13
2023 年度		63		9	72		10		6	15

5. 役員の概要（2024年6月1日現在）

定員：理事6人以上8人以内、監事2人以上3人以内

理事長	鈴木英史（前大阪星光学院中学校・高等学校校長）
理事	田沢幸夫（大阪星光学院中学校・高等学校校長）
常任理事	宮本浩司（前大阪星光学院学院中学・高等学校教頭）
々	東浦丞示（元大阪星光学院学院中学・高等学校教諭）
理事	北川純二（サレジオ小学校・中学校校長）
々	長岡洋一（学校法人サレジオ学院顧問）
々	辻家直樹（サレジオ志願院 院長）
監事	前田崇史（日向学院中学校・高等学校 副校長）
々	大平浩司（税理士）

6. 評議員の概要（2024年6月1日現在）

定員：13人以上16人以内 現在16人

鈴木英史、田沢幸夫、北川純二、辻家直樹、長岡洋一、野出明敬、井上末廣、吉田利満、
範国平次、宮本浩司、小寺史郎 吉田博史 川村卓士 網野省三 東浦丞示 村田正志

II. 事業の概要

1. 教育の充実

1) ミッションスクールとして宗教教育の充実

- ・宗教教育委員会が核となって学院全体の宗教・倫理教育の充実をはかり、生徒、保護者を通じて福音的価値観を社会に発信した。
- ・特に1月のドン・ボスコ記念の行事を充実させ、この他にも学校全体で参加できるような宗教行事を実施。
- ・教職員にカトリック教育に関する研修会を年2回、新任教職員には4月から夏休みまで月2回実施。
- ・毎朝のショートホームルームでの司祭を中心に講話と宗教教育委員会の先生による「主の祈り」、毎週1時間の倫理の授業、校外行事を通して福音的価値観の理解の徹底を図った。また、保護者を対象に聖書教室を開き、あわせて学院の教育理念の理解を求めた。

上記4点は、達成できた。

2) 学校法人城星学園との連携協力確認書の履行。

3) 中高一貫教育の充実

日々の授業の充実、部活動等の活性化を図るとともに、校内に併設する小崎研修館・南部学舎・黒姫星光山荘での約5泊6日を単位とする校外行事を実施した。南部学舎はほぼコロナ禍以前の状態に戻して実施した。黒姫星光山荘は夏期休暇中の行事は予定通り実施した。スキー教室は、黒姫星光山荘での開催は中止し、代案として白鳥高原（岐阜県）を利用して実施した。十分ではないが、教職員と生徒、また生徒どうしの相互理解を深める機会が得られた。

4) 学力向上

中高の6ヵ年一貫教育による「理解と信頼」を基に、心の教育を土台として知的な教育につなげ、将来「世の光」として働ける人材を育てていくことをモットーにという姿勢を重視した。コロナ禍に対して、出来る限りの感染対策を実施し、通常授業を行った。今後は、六ヶ年を総合的に見通した新たな教育システムの導入と本校特有の積み上げてきた教育プログラムを融合して行く事が求められる。

六ヶ年の成長段階に合わせた下記の教育プログラムの実践

- ・ 第一期（中学１・２年）は基本的生活習慣を確立し、基礎学力の充実を図り土台を固め、多様な価値観を容認するおおらかな心を養うよう指導。
- ・ 第二期（中学３年・高校１年）は第一期で築いた土台の上に立ち、関心領域を積極的に拡大しながら考える力を伸ばし、自分の適性の発見に努められるように指導。
- ・ 第三期（高校２・３年）は理系・文系に分かれ、各自の進路実現に向け、学力の更なる充実を図るとともに、社会的存在としての自覚を促す指導。

この教育プログラムにより生徒を把握し、生徒の成長指導に資するようにした。コロナ禍の制限がなくなる中で学校補習授業を実施、保護者・生徒との面談を行い、学力向上にもつなげた。それ以外にも補習合宿を実施、多方面の講演会も実施した。

今年度の大学入試は以下のとおりであった。今後も、生徒の希望する進路確保に努める。

年度	2024 年度（70 期生）					
卒業生	170 名					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部計
国公立大学	102	23	71	19	173	42
私立大学	125	5	181	17	306	22

文科省管轄外大学校

防衛医大	0 (1)	0 (1)	1	1	1 (1)	1 (1)
防衛大学校						

(): 一次のみ合格

◇主な大学別合格者(2025 年 5 月現在)

年度	2024 年度(70 期)					
70 期卒業生数	170					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部
東京大	5		5	1	10	1
京都大	40	2	11	1	51	3
大阪大	8	5	7	2	15	7
神戸大	11	3	7	1	18	4
一橋大	2				2	
東京科学大			1	1	1	1
北海道大	4		3		7	
東北大	1		1		2	
筑波大	1	1			1	1
横浜国立大			1		1	
富山大			1		1	
福井大	3	3			3	3
名古屋大	1				1	
名古屋工大			1		1	
三重大	2	1			2	1

滋賀大	1				1	
滋賀医大			1	1	1	1
京都工繊大			1		1	
奈良教育大			1		1	
鳥取大			1	1	1	1
岡山大			1	1	1	1
広島大	1	1			1	1
山口大			1	1	1	1
徳島大	1	1	1		2	1
九州大	1	1			1	1
大分大			1	1	1	1
鹿児島大			1	1	1	1
国立計	83	18	47	12	130	30
東京都立大			1		1	
名古屋市立大			2		2	
岐阜薬科大			2		2	
京都府立医大	2	2			2	2
大阪公立大	14	2	11	2	25	4
兵庫県立大	2		3		5	
奈良県立医大			3	3	3	3
和歌山医大	1	1	2	2	3	3
公立計	19	5	24	7	43	12
慶応大	1		10	2	11	2
早稲田大	1		5		6	
上智大	3				3	
中央大			2		2	
東京理科大			5		5	
同志社大	14		26		40	
関西学院大	21		7		28	
関西大	12		14		26	
立命館大	6		48		54	
大阪医科大	1	1	4	4	5	5
関西医科大	2	2	4	4	6	6
その他	64	2	56	7	120	9
私学計	125	5	181	17	278	22
総計	227	28	252	36	479	64

防衛医科大	(1)	(1)	1	1	1 (1)	1 (1)
防衛大学校						
計	(1)	(1)	1	1	1 (1)	1 (1)

() : 一次のみ合格

5) クラブ活動の活性化

クラブ活動も学習とともに学校生活を豊にするものであります。多数の生徒がクラブ活動に参加している。

＜文科系クラブ＞ 中学生：247名 高校生：217名

＜運動系クラブ＞ 中学生：434名 高校生：349名

クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計
天文	10	7	17	美術	21	18	39	バスケットボール	45	41	86
ライフサイエンス	26	29	55	新聞	0	0	0	バレーボール	26	18	44
電気工学	14	6	20	文芸	4	0	4	テニス	55	62	117
化学	17	10	27	カトリック研究会	28	1	29	卓球	32	35	67
物理	2	13	15	書道	3	0	3	野球（高）		35	35
地歴研究	12	14	26	囲碁将棋	35	9	44	野球（中）	69		69
数学研究	15	6	21	クイズ研究会	25	8	33	ホッケー	44	33	77
E S S	7	14	21	合唱同好会	8	4	12	柔道	44	15	59
放送	0	15	15	ボランティア	3	36	39	弓道	11	8	19
吹奏楽	6	11	17	けん玉同好会	3	7	10	サッカー	67	49	116
写真	8	9	17	陸上	21	24	45	剣道	13	24	37

(2024年6月現在)

2. 2024 年度生徒募集状況（2024 年中学 1 月、高校 2 月実施）について

1) 《大阪星光学院中学校》

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

- ・城星学園小学校生対象の特別選抜入試を実施

＜入試科目＞

I 型：4 科型（国語・算数・理科・社会）

- ・4 科目の合計点、国語・算数・理科の合計×1.25、国語・算数・社会の合計×1.25 の内最高点を本人の成績とする。

II 型：3 科型（国語・算数・理科）

- ・3 科目の合計点×1.25 を本人の成績とする。

＜合格発表＞ 受験者（I 型＋II 型）の成績上位より定数を合格発表する。

2) 《大阪星光学院高等学校》

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。

インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

入学手続きを、専願生と併願生で分けた。専願生は合格発表後すぐ、併願生は公立高校の発表を待って手続きさせた。

＜入試科目＞ 国語、数学、英語、社会、理科 専願者のみ面接試験

＜配 点＞ 国語 120 点、数学 120 点、英語 120 点、社会 70 点、理科 70 点
英・数・国・理・社 5 教科の評定と音・美・体・技 4 教科の評定

＜選抜方法＞ 入学試験結果と評定と面接結果で判定

＜入試結果概要＞

中学（76 期生）			高等学校（73 期生）	
年度	2025 年度生		2025 年度生	
	I 型	II 型	専願	併願
志願者数	525	228	11	16
受験者数	500	198	11	16
合格発表者数	216	67	8	15
合格最低点	250			
競争率	2.7			
実質競争率	2.5			
特別選抜合格者	8			
入学者数	194		8	3
			内部進学者	185

3) 《渉外部の広報活動》

- ・インターネット出願の説明を 5 月頃より開始、
- ・渉外部の小学校・塾主催の説明会や講演会への参加
- ・塾向け学校内の広報活動を実施
- ・2024 年度学院案内作成
- ・オープンスクール
- ・学校説明会

3. 主な事業

《教 務》

(1) 各学年主な行事一覧

学校	対象	時期	行事
中 学	1	4月/6月	研修館合宿（第1期～10期）2泊3日
		5月	遠足（伊賀の里モクモク手づくりファーム）
			消防訓練
			人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
		6月	OB講演会・交流会（19期内藤剛志）教室にて配信
			芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
		7月	山荘合宿 前班 7/30～8/3 後班 8/4～8
		8月	プール教室（城星学園）
		10月	南部授業合宿 10/14～19
			中部障害者センター赤おにとの交流会・講演会
		11月	SF
		12月	和楽器体験授業
			パリオリンピック近代五種銀メダリストによる講演会
			クリスマス会
		1月	学校カウンセラーの授業（自己肯定感についての理解を促す）
			保護者対象性教育講演会
		2月	耐寒登山（葛城山）
			ドン・ボスコ記念ミサ
		3月	スキー教室（前班 3/10～3/12・後班 3/12～3/14）
		4月	遠足（大塚国際美術館および大鳴門橋遊歩道渦の道）
	2	5月	消防訓練
			人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
		6月	OB講演会・交流会（19期内藤剛志）教室にて配信
			芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
		7月	山荘合宿 前班 7/21～25 後班 7/26～30
		9月	南部授業合宿 9/9～14
		11月	SF
		2月	スキー教室（前班 2/3～5・後班 2/5～7）
			なんばグランド花月観劇
			ドン・ボスコ記念ミサ
			思春期教室（講演会）
			英語暗唱大会

高 校			パリオリンピック近代五種銀メダリストによる講演会（城星学園）
	3	4 月	南部授業合宿 4/22～27
		5 月	遠足（京都円山公園周辺および京都劇場）
			消防訓練
			人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
		6 月	性教育講演会
			OB 講演会・交流会（19 期内藤剛志）教室にて配信
			芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
		7 月	修学旅行 3 泊 4 日（長崎）
		8 月	南部勉強合宿 8/18～22
		1 1 月	SF
			公認会計士出前授業
		1 2 月	パリオリンピック近代五種銀メダリストによる講演会
		2 月	ドン・ボスコ記念ミサ
			英語暗唱大会
			マラソン大会（大泉緑地公園）
		3 月	卒業式
		4 月	南部勉強合宿 3/29～4/3 高入生・希望者
			消防訓練
			人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
		5 月	遠足（湊川鉄道・北野異人館街・旧居留地など）
		6 月	OB 講演会・交流会（19 期内藤剛志）
			ウクライナ情勢についての講演会
			芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
		7 月	南部家庭科合宿 前班 7/21～25 後班 7/27～31
		8 月	山荘合宿 前班 8/18～21 後班 8/22～25
	1	9 月	フィリピン出身者による講演会（修学旅行事前学習会）
		1 1 月	SF
			自殺予防教育講演会
			京大オープンキャンパスツアー
			フィリピン出身者による講演会（修学旅行事前学習会）
		1 月	デート DV 講演
		2 月	ドン・ボスコ記念ミサ
			カトリック司祭の講演（いのちの授業）
			マラソン大会（大泉緑地公園）
			フィリピン出身者による講演会（修学旅行事前学習会）

		英語暗唱大会
		テーブルマナー実習
		合唱コンクール
2	4 月	修学旅行 4 泊 5 日（沖縄八重山諸島）
	5 月	消防訓練
		人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
	6 月	OB 講演会・交流会（19 期内藤剛志）
		芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
	8 月	南部勉強合宿 8/24～29
	9 月	ミュージカル鑑賞（劇団四季「ウィキッド」）
	10 月	カトリック司祭倫理特別講演会
	11 月	SF
		講演会（がん教育）
	12 月	講演会（HIV 感染症など）
		パリオリンピック近代五種銀メダリストによる講演会
	2 月	ドン・ボスコ記念ミサ
		思春期教室（講演会）
	3 月	南部勉強合宿（5 泊 6 日）希望者
3	5 月	消防訓練
		人権映画 生きるということ 映画「いのちの停車場」
		学校周辺遠足（大阪城・通天閣・道頓堀・中之島）
	6 月	芸術鑑賞（日本伝統芸能の鑑賞「落語」）
	8 月	南部勉強合宿 8/2～7
	3 月	卒業式

（2）各種大会代表

- 全日本ジュニアテニス選手権 2024 男子ダブルス（16 歳以下）出場 奥村惺
- 第 24 回アジア物理オリンピック
銅メダル 小林悠大
- 第 8 回ヨーロッパ物理オリンピック
銀メダル 小林悠大

《主な経費支出について》

新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が、同時期に生じることによる修繕経費支出が増額となった。南部学舎、黒姫星光山荘の修理と新規設備の導入等必要となった。

ア. 経費支出

新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が同時期に生じることによる修繕経費支出が継続している。南部学舎、黒姫山荘の修理と新規設備の導入等が必要となった。

(1) 消耗品費

①冷却水処理剤レジオクラッシュ	198,000 円
②（web 配信用）Zoom2.0 30 ライセンス	442,200 円

(2) 通信運搬費

○インターネット利用料	1,069,200 円
-------------	-------------

(3) 修繕費

【本 校】

○外壁改修工事（Ⅲ期）	58,520,000 円
-------------	--------------

【南 部】

○排水管敷設取替工事	1,870,000 円
------------	-------------

【山 荘】

○外部建具修繕工事他	884,950 円
------------	-----------

(4) 損害保険料

【本 校】

○個人情報漏洩保険（AIG 損保㈱）	628,210 円
--------------------	-----------

【南 部】

○企業財産保険（地震）保険（1 年）（AIG 損保㈱）	3,952,090 円
-----------------------------	-------------

(5) 報酬委託手数料

①警備・施設管理・清掃委託料（シズゞ・ヒゞルライフケア関西）	29,702,000 円
②空調設備保守点検業務委託料（タキチ）	2,088,000 円
③教員派遣料（2 人）（エデゞューショナルネットワーク）	5,417,000 円
④職員紹介料・派遣料（ハゞソナ）	2,767,000 円
⑤中高入試 Web 出願利用料（エデゞューショナルネットワーク）	1,390,000 円
⑥校内システム保守他（ハゞナソニック）	2,557,000 円
⑦医薬品・環境衛生に関する相談（薬剤師）	120,000 円
⑧（南 部）安全対策工事に伴う設計監理業務	4,400,000 円

(6) 行事費

○（芸術鑑賞）落語鑑賞	475,305 円
-------------	-----------

※学校負担分のみ

(7) 賃借料

○（食堂）券売機リース代	312,000 円
--------------	-----------

イ. 施設設備関係支出

(1) 建物支出

○ (南 部) 食堂エアコン工事 3,614,600 円

(2) 構築物支出

○ (南 部) 避難路 (安全対策工事) 120,000,000 円

(3) 機器備品支出

① (各クラス) iPad 端末 4 台 425,502 円

② (南部) エアコン 2 台 1,007,200 円

ウ. 資産運用支出

①退職給与引当特定資産繰入支出 21,000,000 円

②減価償却引当特定資産への繰入支出はありません。

Ⅲ. 財務の概要

以下に記載した財務の概要は、学校法人会計基準に基づき作成した計算書類を要約したものです。

1. 資金収支計算書（2024年4月1日～2025年3月31日）

収入の部		(単位 千円)			
科 目	2024年度予算	2024年度決算	差 異	2023年度決算	前年度比
生徒納付金収入	711,818	711,696	122	765,426	△ 53,730
手数料収入	16,060	16,062	△ 2	15,069	993
寄付金収入	19,000	18,720	280	23,557	△ 4,837
補助金収入	475,495	487,820	△ 12,325	386,695	101,125
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業	5,000	2,319	2,681	59	2,260
受取利息・配当金収入	5,885	5,908	△ 23	5,043	865
雑収入	13,005	13,007	△ 2	43,287	△ 30,280
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	125,400	124,600	800	124,900	△ 300
その他の収入	88,025	93,126	△ 5,101	13,980	79,146
資金収入調達勘定	△ 161,460	△ 173,739	12,279	△ 164,325	△ 9,414
前年度繰越支払資金	72,932	72,932	0	197,869	△ 124,937
収入の部合計	1,371,160	1,372,451	△ 1,291	1,411,488	△ 39,037

支出の部		(単位 千円)			
科 目	2024年度予算	2024年度決算	差 異	2023年度決算	前年度比
人件費支出	892,075	891,952	123	939,509	△ 47,557
経費支出	244,351	233,381	10,970	344,181	△ 110,800
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	119,615	115,672	3,943	0	115,672
設備関係支出	3,740	3,687	53	9,493	△ 5,806
資産運用支出	21,000	21,127	△ 127	44,937	△ 23,810
その他の支出	88	88	0	524	△ 436
予備費	0	0	0	0	0
貸金支出調整勘定	△ 300	△ 30	△ 270	△ 88	58
翌年度繰越支払資金	90,591	106,574	△ 15,983	72,932	33,642
支出の部合計	1,371,160	1,372,451	△ 1,291	1,411,488	△ 39,037

2. 事業活動収支計算書（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

①教育活動収支

（単位千円）

教育活動収入	2024 年度			2023 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
生徒納付金	711,818	711,696	122	765,426	△ 53,730
手数料	16,060	16,062	△ 2	15,069	993
寄付金	6,000	5,420	580	12,989	△ 7,569
補助金	439,525	451,850	△ 12,325	386,695	65,155
付随事業収入	5,000	2,319	2,681	58	2,261
雑収入	13,005	13,007	△ 2	43,287	△ 30,280
教育活動収入計	1,191,408	1,200,354	△ 8,946	1,223,524	△ 23,170

教育活動支出	2024 年度			2023 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
人件費	906,306	913,079	△ 6,773	944,446	△ 31,367
経費	346,351	336,671	9,680	450,004	△ 113,333
（内減価償却額）	102,000	102,093	△ 93	104,356	△ 2,263
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	1,252,657	1,249,750	2,907	1,394,450	△ 144,700
教育活動収支差額	△ 61,249	△ 49,396	△ 11,853	△ 170,926	121,530

②教育外活動収支

（単位千円）

教育外活動収入	2024 年度			2023 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
受取利息・配当金	5,885	5,908	△ 23	5,043	865
その他収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	5,885	5,908	△ 23	5,043	865

教育外活動支出	2024 年度			2023 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	5,885	5,908	△ 23	5,043	865

③特別収支

特別収入

(単位千円)

科目	2024 年度			2023 年度	
	予算	決算	差異	決算	差異
資産売却差額	0	0	0	0	0
その他の特別収入	49,300	50,102	△ 802	10,851	39,251
特別収入計	49,300	50,102	△ 802	10,851	39,251

特別支出

(単位千円)

科目	2024 年度			2023 年度	
	予算	決算	差額	決算	差異
資産処分差額	10	494	△ 484	183	311
その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	10	494	△ 484	183	311
特別収支差額	49,290	49,608	△ 318	10,668	38,940

	2024 年度 (単位千円)			2023 年度	
	予算	決算	差異	決算	差異
基本金組入前当年度収支差額	△ 6,074	6,120	△ 12,194	△ 155,215	161,335
基本金組入額合計	△ 120,000	△ 138,024	18,024	△ 7,002	△ 131,022
当年度収支差額	△ 126,074	△ 131,904	5,830	△ 162,217	30,313
前年度繰越収支差額	△ 1,045,402	△ 1,045,402	0	△ 883,185	△ 162,217
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,171,476	△ 1,177,306	5,830	△ 1,045,402	△ 131,904

(参考)

事業活動収入計	1,246,593	1,256,364	△ 9,771	1,239,418	16,946
事業活動支出計	1,252,667	1,250,244	2,423	1,394,633	△ 144,389

3. 貸借対照表 (2025 年 3 月 31 日)

資産の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,433,579	4,446,046	△ 12,467
有形固定資産	2,376,990	2,357,256	19,734
土地	88,205	88,205	0
建物	1,875,421	1,940,609	△ 65,188
構築物	257,447	157,553	99,894

機器備品	55,265	71,579	△ 16,314
図書	99,910	98,340	1,570
車輛	742	970	△ 228
特定資産	1,997,936	2,026,809	△ 28,873
減価償却引当	1,879,299	1,929,299	△ 50,000
退職金引当	118,637	97,510	21,127
その他の固定資産	58,653	61,981	△ 3,328
電話加入権	554	554	0
ソフトウェア	1,613	3,744	△ 2,131
有価証券	39,877	39,877	0
保険積立金	14,000	14,000	0
長期前払費用	2,609	3,806	△ 1,197
流動資産	255,573	211,263	44,310
現金預金	106,574	72,932	33,642
未収入金	48,840	38,025	10,815
金銭信託	100,000	100,000	0
仮払金	159	306	△ 147
資産の部合計	4,689,152	4,657,308	31,844

負債の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	118,637	97,511	21,126
長期未払金	0	0	0
退職給与引当金	118,637	97,511	21,126
流動負債	159,956	155,359	4,597
未払金	30	88	△ 58
前受金	124,600	124,900	△ 300
預り金	35,326	30,371	4,955
負債の部合計	278,593	252,870	25,723

純資産の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	5,587,865	5,449,841	138,024
第1号基本金	5,587,865	5,368,841	219,024
第4号基本金	101,000	81,000	20,000
繰越収支差額	△ 1,177,306	△ 1,045,402	△ 131,904
翌年度繰越収支差額	△ 1,177,306	△ 1,045,402	△ 131,904
純資産の部合計	4,410,559	4,404,438	6,121
負債及び純資産の部合計	4,689,152	4,657,308	31,844